

奥尻町教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の
点 検 及 び 評 価 報 告 書
(令和元年度)

奥尻町教育委員会

令和元年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
1	奥尻町いじめ不登校対策等委員会 奥尻町いじめ根絶子ども会議	奥尻町内における、いじめ不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取組状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図る。毎年1回12月中旬に各小中学校・高校と共同で実施。	0		B	B
2	奥尻町特別支援教育連絡協議会	奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校に於いて、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進する。毎年1回11月下旬頃に開催。	3	11/2 参加教職員町内旅費	B	B
3	「北海道教育の日」協賛事業 教育委員会学校視察	「家庭、学校、地域社会及び行政が一体となって、教育に関する理解と関心を高めるための様々な取組を展開することによって、全ての道民が子どもたちの教育について考え、語り合い、行動する契機とする」という北海道教育の日の趣旨に協賛し、毎年1回11月下旬頃に教育委員により実施している。	0		B	B
4	預かり保育	住民のニーズに沿うよう、保育時間外(午前8時15分から8時30分、午後2時から6時)預かり保育を実施している。平成26年10月より青苗幼稚園においても実施している。 令和元年10月1日から幼児教育・保育の無償化、11月1日から朝の預かり保育を実施。	3,986	臨時職員賃金、消耗品費	B	B
5	奨学資金の貸付	奥尻町に在住する子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。	5,891		C	C
6	土曜授業推進事業	土曜授業を活用し、各教科、領域での体験活動、特に「直接体験」を重視していく。このことにより豊かな人間性や自ら学び考える力を育成できると同時に、従来の5日制よりも児童の負担が少なく日常の学習に取り組むことができる。更に三類型の授業「習得型」「活用型」「探究型」の充実を図ることができる。	0	青苗小学校のみ実施	B	B
7	奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業	奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。	100		B	B
8	奥尻町教育団体連合会運営事業	奥尻町へき地複式教育研究連盟、奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会の教育団体に対し助成を行う。町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。	312	奥尻町教育推進協議会補助金124千円 特別支援学級教育研究会補助金154千円 へき地複式教育研究連盟補助金34千円	B	B
9	小学校社会科副読本製作事業	町内の児童が小学校で使用する副読本の内容を改訂し、郷土教育の充実を図る。	28	軽微な内容修正・増刷費	B	B
10	学習支援ツール(スタディサプリ)導入事業	生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質の向上を図る。	260	一人当たり年額6,000円	B	B
11	奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業 中体連卓球全道大会出場事業	体育系の部活動を野球部・女子バレー部・卓球部と3部設置しており、毎年7月に開催される檜山中体連球技大会に参加している。※陸上部はないが、陸上出場選手もいるので参加費等を助成している。	789	陸上11名 野球11名 卓球7名 バレー10名 卓球全道2名	B	B
12	奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業	文化系活動として吹奏楽部があり、練習活動に励んでいるところであるが、加盟団体である北海道吹奏楽連盟主催の函館地区コンクールが開催されるので、日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高めることを目指す。	312	参加者6人	B	B
13	奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業	外国語(英語)教育において、近年特にコミュニケーションの重要性が叫ばれる中、授業にも生きた英会話、コミュニケーションを取り入れられているところである。	68	奥尻中学校 生徒2名・教員1名参加	B	B
14	ミルク給食	ミルク給食を活用し食育の推進を図る。	1,238	牛乳代 1,079千円 運搬費 159千円	B	B
15	修学旅行費援助事業(小学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせること、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	242	奥尻小学校 5名 青苗小学校 0名	C	C
16	修学旅行費援助事業(中学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせること、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	1,215	奥尻中学校 13名	B	B

令和元年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
17	修学旅行費援助事業(高等学校)	島外の文化、産業に触れ、広い知識と豊かな社会性を身につけさせること、団体行動を通じて、集団規律の在り方を学ぶ。	915	奥尻高等学校 22名	B	B
18	まなびじま奥尻プロジェクト	持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業の課題克服に向け生徒自身が考え行動する。	0	まちおこしワークショップ 奥尻イングリッシュサローン Wi-Fiコーナー 奥尻バブリシティ	C	C
19	奥尻高校島留学生受入推進事業	奥尻高校の生徒数維持・教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。	194,350	生徒募集説明会 オープンキャンパス 受入宿舍助成 島留学生への補助 寄宿舎建設	B	C
20	スクーバ授業推進事業	離島という特性を生かし、特色ある授業としてスクーバ授業を実施する。	3,535		B	B
21	外国語教育指導助手招へい事業	外国語教育指導助手を招へいし、小中高の外国語教育の向上を図る。	4,140		B	B
22	準要保護児童生徒認定及び援助事業	就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を町から援助している。	520		B	B
23	各種検診事業	幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。	1,763		B	B
24	少年の主張発表大会への支援	日常生活の中で、日頃考えていることを広く発表することにより、社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。	21	少年教育の推進	B	B
25	青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコースHokkaido」への支援	中学生リーダーの育成を図る。	16	少年教育の推進	B	B
26	成人式・成人の集い	社会組織の一員となることから、自覚の意識を持たせることを目的とする。	222	青年教育の推進	B	B
27	社会教育団体への支援	PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う	357	青年教育・女性教育・芸術文化振興の推進	B	B
28	社会体育団体への支援	体育協会・スポーツ少年団・町民体育祭実行委員会への支援を行う	450	スポーツ振興・少年教育の推進	B	B
29	第41回児童・生徒書道展	児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。	42	芸術・文化	B	B
30	第41回子ども美術展	児童・生徒に対し絵画の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を育む。	57	芸術・文化	B	B
31	奥尻岬巡りツアー	奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。	14	芸術・文化	C	C
32	児童芸術鑑賞事業	舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。	0	芸術・文化	B	B
33	佐藤義則杯野球大会	郷土の星、福岡ソフトバンクホークス投手コーチ「佐藤義則」氏の功績をたたえとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。	60	スポーツ推進事業	B	B

令和元年度事務・事業評価対象事業リスト

(単位:千円)

番号	事業名	事業内容	事業費	備考	自己評価	外部評価
34	檜山管内スポーツフェスタ(町内開催)	管内で競技を持ち回りながら行っている事業。奥尻町ではゲートボール大会を開催。	0	スポーツ推進事業	B	B
35	檜山管内スポーツフェスタ(町外開催)	管内で協議を持ち回りながら行っている事業。令和元年度はバドミントン競技(せたな町)に参加した。	71	スポーツ推進事業	B	B
36	第43回町民スキー大会事業(中止)	スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。	0	スポーツ推進事業	B	B
37	学校体育館・グラウンド夜間開放事業	身近なところで気軽にスポーツに親しめるよう、学校の体育施設を開放する。	193	スポーツ推進事業	C	C
38	スキー場開放事業	簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。	1,068	スポーツ推進事業	B	B
39	第26回教育長杯グラウンドゴルフ大会事業	誰にでもできるスポーツとして親睦と体力の向上を図るため実施した。	40	スポーツ推進事業	C	C
40	町民スキー教室(中止)	スキー技術の向上、競技人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を図る。	0	スポーツ推進事業	B	B
41	おくしりチャレンジスクール	地域の多様な人物、企業等に参画していただき、学校で経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。	28	青少年教育・成人事業	B	B
42	うみいろCafé	図書室の取り組みによる読書活動の推進及び図書室利用者増加。ボランティアによる町民の主体的なまちづくり意識の醸成。	23	青少年教育・成人事業	B	B
43	ブックスタート	親子の健やかな成長の促進、過程を見守る地域の支援体制づくり。家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進。	17	青少年・成人教育事業	B	B
	合計		222,346			

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	いじめ不登校対策	施策内容	児童生徒及び高等学校生徒による、いじめ・不登校等の問題行動等の諸課題に対する具体的な対応方針等についての検討会議を行う。			
事業名	奥尻町いじめ・不登校等対策委員会、奥尻町いじめ根絶子ども会議					
事業実施日	令和元年5月8日、10月31日いじめ不登校対策等委員会、11月12日いじめ根絶子ども会議					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成19年度
目的	奥尻町内における、いじめ・不登校等の問題行動や生徒指導上の課題の解決に向け、各学校の取り組み状況や実態把握、情報交換、協議等を通じて、関係機関等が密接な連携・推進を図るため。
事業概要	各小中学校の児童生徒の代表者及び奥尻高等学校の代表者により、いじめ不登校対策の事例発表を行い、それについて全体会議及び班毎に討議を行う。
対象者	奥尻町立学校児童生徒及び奥尻高等学校生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事務局費	11	4	0	12	0
費用弁償	11	4	0	12	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	いじめ・不登校等の問題行動について、児童生徒自身が考え、行動する機会を得ることで、問題行動等に対する課題意識の発揚と、未然防止対策につながるようになることから、極めて有意義であると考えます。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充	B 現状のまま継続	C 改善の上継続	D 事業の縮小	E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。				

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育	施策内容	特別に支援を要する児童生徒について協議し、特別支援学級の設置などを判断する。		
事業名	特別支援教育連絡協議会				
事業実施日	令和元年12月2日				

2.事務事業概要

事業主体	特別支援教育連絡協議会
事業開始年度	
目的	奥尻町立の幼稚園、小学校、中学校、高校において、特別な教育的支援を必要とする子どもに、適切かつ効果的・効率的な指導を推進するため。
事業概要	奥尻町立幼稚園、小学校、中学校、高校の校長及びコーディネーター、そして奥尻町保健福祉課長、母子保健係長、子ども支援係長、函館児童相談所を構成員として、学習障害（LD）多動性障害（ADHD）等を含む障害のある児童生徒に対する支援体制のあり方などを協議・検討する。
対象者	園児・児童・生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事務局費	5	6	3	16	3
費用弁償	5	6	3	16	3

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>近年特別な支援を要する子どもたちが増えてきている現状にあることから、こうした組織の必要性、重要性も増してきている状況にあり、現状を維持しつつ、継続すべき事業と考える。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	教育委員会活動	施策内容	教育委員会委員による学校訪問		
事業名	「北海道教育の日」協賛行事 教育委員会学校視察				
事業実施日	令和元年12月19日（青小、浜風寮、高校視察）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	教育委員会委員による学校訪問を行うことで、学校経営や学校での取り組みについて、教育委員会委員へ実情を説明し、意見交換を行うため。
事業概要	基本的に校長が新たに赴任した学校を当該年度において訪問することとし、学校経営等の実情を聞き取りする。また教育委員会委員との意見交換を行う。（奥幼、青幼、奥小、青小、奥中、奥高訪問）
対象者	各学校長・教頭、各幼稚園園長

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育委員会費	2	0	0	0	0
費用弁償	2	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>教育委員会委員による学校訪問は、各学校で学校経営がどのように行われているかを各教育委員が知る機会となり、それにより方向性等を検討することができるので、有意義であると考えます。また、学校側にとっても学校の現状や課題、要望等について教育委員へ直接伝えることができるため、問題解決のための一助となっている。現状を維持しながら、継続していく必要がある。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 改善の上継続 <input type="checkbox"/> D 事業の縮小 <input type="checkbox"/> E 休廃止の検討 <input type="checkbox"/>
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係		事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	預かり保育	施策内容	幼稚園の保育時間外に、在園児を幼稚園の施設で預かり、保護者の子育てを支援する。			
事業名	預かり保育					
事業実施日	平成31年4月10日～令和2年2月26日（令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施）					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成23年度
目的	幼稚園の保育時間終了後、幼稚園の管理下において希望する在園児を当該施設で預かり保育することにより、保護者の子育てを支援する。
事業概要	幼稚園において通園している園児を対象に、希望があれば、登園時間の15分前からと保育時間終了後、預かり保育を行う。
対象者	奥尻町立幼稚園園児（保護者）※青苗幼稚園は平成26年10月より実施。

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開設日数					172
利用者延べ人数	1373	4,643	5,283	7,513	3,506
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
幼稚園保育料 (預かりのみ)	137	464	528	751	91
幼稚園管理費		20,450	14,437	15,678	12,941
臨時職員賃金		6,459	2,895	4,079	3,928
消耗品費		734	754	779	58

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; vertical-align: top;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>保護者の子育て支援のため、幼稚園の保育時間終了後預かり保育を実施しているが、保護者のニーズもあり、利用がされている実態にある。平成26年度からは、青苗幼稚園においても預かり保育を始めている。また令和元年10月1日からの幼児教育・保育の無償化により共働き世帯については無償となり、朝の預かり保育（8：15～）についても令和元年11月1日から開始したことにより、より一層利用しやすい環境となった。保護者が働きやすい環境を確保するためにも、今後も事業の継続が必要である。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係		事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	後期中等教育・大学教育・専修学校教育	施策内容	高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける			
事業名	奨学金の貸付					
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	昭和63年
目的	奥尻町に在住する子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学する者あるいは現在に在学する優秀な生徒並びに学生で経済的理由により、就学困難な者に対し、奨学資金を貸付け、もって有用な人材を育成することを目的とする。
事業概要	高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者に奨学金を貸し付ける
対象者	奥尻町に在住する者の子弟で、高等学校、専修学校、高等専門学校及び大学に入学・通学する学業優秀で、経済的理由により就学困難な者

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新規貸付 人	0	4	4	6	3
新規貸付 千円	0	1,350	1,440	2,040	1,440
在学中貸付 人	4	2	4	5	9
在学中貸付 千円	1,800	1,200	1,800	2,450	4,451
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
奨学金	1,800	2,550	3,240	4,490	5,891
負担金補助及び 交付金	0	0	0	0	0
奨学資金貸付金	1,800	2,550	3,240	4,490	5,891

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; text-align: center;"> ランク C </div>	奨学資金貸付条例に基づき事業を展開しており、この間有用な人材を育成し、ある一定の成果をあげてきていると言える。ただ、あくまでも一般財源からの貸し付けであり、貸付期間終了後1年後から償還が始まる。滞納者が相当数存在し、町内の滞納者については、平成24年度において直接訪問し、この間支払が滞っている方々も理解を示し、償還金を完済した方々もいる。島外者の中には、通知を送っても住所不定で郵便が戻ってきてしまう滞納者もいる。また、現年度分についても、数ヶ月支払が滞っている人については、通知をし、相談に応じるなどの対応をとっているが、滞納額は年々増加の一途を辿っていることから、徴収業務を見直し、改善のうえ事業を継続する。 令和2年度滞納繰越額：11,642,100円

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	徴収方法及び貸付決定時の選考方法について、改善の上継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係		事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）	施策内容	文部科学省の「土曜授業推進事業」を活用することで、各教科、領域での体験活動、特に「直接体験」を重視していく。このことにより豊かな人間性や自ら学び考える力を育成できると同時に、従来の5日制よりも児童の負担が少なく日常の学習に取り組むことができる。さらに三類型の授業「習得型」「活用型」「探究型」の充実を図ることができる。			
事業名	土曜授業推進事業					
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立青苗小学校
事業開始年度	平成26年度
目的	直接体験を重視し、より豊かな人間性の育成、学び考える力の育成を図る。
事業概要	土曜日を授業日とすることで、平日5日間の授業の内容を、行事等の練習日等にとられないようになり、平日5日間を有効に活用することができ、より一層授業の深度を増すことができる。また、土曜授業として地域の人材を活用し、児童に対する地域の学びの場面として提供することができる。
対象者	児童

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
授業実践交流 講師	2	2	0	0	0
	外部講師	ライフセービング講師			
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事務局費	217	213	0	0	0
報酬	16	18	0	0	0
旅費	57	51	0	0	0
消耗品費	139	139	0	0	0
通信運搬費	5	5	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>文部科学省の「土曜授業推進事業」について、青苗小学校が採択となり、平成26年度より「試行」ということで実施した。</p> <p>児童にとっては平日5日間で主要教科の一層の充実を図り、土曜授業では、行事等の練習日や地域の人材を活用し、特色ある学びの場面とすることができるなど、効果は大きいと考える。</p> <p>指定事業は28年度で終了したが、町単独で事業の継続を必要とする。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	生徒指導・非行防止	施策内容	三大祭り等の際に、児童生徒の安全及び非行等がないか見回り活動を行う。		
事業名	奥尻町校外生活指導連絡協議会運営事業				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町校外生活指導連絡協議会
事業開始年度	
目的	奥尻町の将来を背負う若者の健やかな成長のため、小中高、保護者、地域間の協力を目指す。
事業概要	町内小中高生の生活の実態について共通理解を深め、緊急の事態が起こった場合、学校・理事・保護者が適切に努める。
対象者	奥尻町教育委員会、各小中学校生徒指導担当教諭、児童委員、少年指導員、警察、奥尻町交通安全協会

3.実施状況

指標		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会議開催回数		2	1	1	2	4
少年の主張大会への派遣(引率者)	人数	1	1	1	1	1
教育講演会(町P連共催)	講師	高田 のぞみ 氏 (北海道今金高等養護学校)	金子 耕弉 氏 (HBCラジオパーソナリティー)	白川 清久 氏 (滝川市立西小学校長)	大友 秀人 氏 (北海商科大学教授)	蓮尾 豊 氏 (あomorい女性ヘルスケア研究所長)
決算額	千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事務局費		79	100	100	100	100
負担金補助及び交付金		79	100	100	100	100

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	児童生徒の健全育成のための活動であることから、必要性があるため現状を維持し、継続していく。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局総務係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	教育団体の育成	施策内容	教育三団体の育成及び活動の充実を図るため、その運営費を助成する。		
事業名	奥尻町教育団体連合会運営事業				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育団体連合会
事業開始年度	
目的	町内小中学校の教育活動を補助する各種団体の円滑な運営を目的とする。
事業概要	奥尻町特別支援学級教育研究会、奥尻町教育推進協議会、奥尻町へき地複式教育研究連盟
対象者	奥尻町立学校教職員

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
へき地複式教育研究連盟 補助金				33	34
特別支援学級教育研究会 補助金	150	150	180	180	154
教育推進協議会 補助金	300	249	200	200	124
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事務局費	450	399	380	413	312
負担金補助及び交付金	450	399	380	413	312

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	町内外の教育関係機関との連携や、学校間の交流、公開研究会などを通じて教員の資質を図り、もって児童生徒の学力向上などへ資することから、必要な施策と考える。現状を維持し継続する。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	小学校歴史	施策内容	郷土教育を図るため社会科副読本を増刷・修正する。		
事業名	奥尻町社会科副読本製作事業				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町社会科副読本製作委員会
事業開始年度	
目的	改訂した社会科副読本の増刷・内容修正をする。
事業概要	奥尻町社会科副読本の内容修正・増刷
対象者	奥尻町小学校児童

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
内訳					
事務局費	0	10	10	1	0
会議費	6	1	1	0	1
印刷製本費	254	28	28	21	23
旅費	32	8	8	3	3
消耗品費	8	3	3	1	1
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事務局費	300	50	50	26	28
負担金補助及び交付金	300	50	50	26	28

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	今後も情報の更新や増刷予算の確保は必要なものの、大きな改訂はないため、現状のまま継続していく。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	奥尻高校の生徒が学習支援ツールを使うための補助		
事業名	学習支援ツール（スタディサプリ）導入事業補助金				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成29年度
目的	生徒の学習の際に使用できるツールの使用料を補助することで、教育の質を向上させる。
事業概要	インターネット接続環境においてスマートフォンやパソコンを利用し動画を視聴することができるサービス。大学別講座や、センター試験対策講座の受講が可能。奥尻高校生徒へのスタディサプリ利用料3分の2を町で補助している。
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数					65
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費			164	176	260
負担金補助及び交付金			164	176	260

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>学習支援ツールを導入することにより、生徒たちの自主的な学習機会の増加が見込め、またツールにより客観的に自身の理解度などを把握できるため、学習の方向性を定めやすくなっており、全体的な学力向上につながっているため、継続した実施が必要と考える。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	檜山中体連に参加することで、日頃の練習の成果を試すとともに、部活動への活動意欲を高める。		
事業名	奥尻町立中学校檜山中体連陸上・各球技大会出場事業、中体連卓球全道大会出場事業				
事業実施日	令和元年6月7日～9日（陸上）、7月1日～3日（バレー・野球・卓球）、7月30日～31日（卓球全道）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立中学校
事業開始年度	
目的	日頃の練習の成果を試すとともに、全道大会出場権獲得も含め、上位入賞を目標として参加する。
事業概要	中体連に参加することで日頃の練習の成果を試すとともに、活動意欲を高め、体育教育の向上を目指す。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加生徒数					
陸上	9	11	16	12	11
野球	17	19	13	10	11
卓球	15	15	14	12	7
バレー	9	15	17	15	10
卓球（全道）					2
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費	711	1,306	757	661	789
負担金補助及び交付金	711	1,306	757	661	789

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
	檜山中体連出場事業に係る経費であることから、現状を維持し継続することとする。
ランク	B

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	吹奏楽部函館地区コンクールへ出場するため、必要な助成を行う。		
事業名	奥尻町立中学校吹奏楽部函館地区コンクール出場事業				
事業実施日	令和元年7月26日～令和元年7月28日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立中学校
事業開始年度	
目的	日頃の練習の成果を試すとともに、参加することにより、さらに今後の活動意欲を高め、吹奏楽部を中核として情操教育の向上を目指す。
事業概要	北斗市かなで〜るで開催される、北海道吹奏楽連盟主催による函館地区吹奏楽コンクール出場への助成。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加生徒数	13	11	8	7	6
引率教員数	4	4	2	3	3
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費	331	490	365	399	312
負担金補助及び交付金	331	490	365	399	312

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	日頃の練習の成果を発表する上で貴重な場であることから、現状を維持して今後とも続けていきたい。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 <input checked="" type="checkbox"/> B 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> C 改善の上継続 <input type="checkbox"/> D 事業の縮小 <input type="checkbox"/> E 休廃止の検討 <input type="checkbox"/>
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	英語暗唱大会へ出場するため、必要な助成を行う。		
事業名	奥尻中学校檜山管内中学校英語暗唱大会出場事業				
事業実施日	令和元年10月8日～令和元年10月10日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町立奥尻中学校
事業開始年度	
目的	日々の授業で培ったコミュニケーション能力を発表する機会を与えるため。
事業概要	管内の中中学校から選抜された生徒が集まり、英語暗唱大会を実施している。
対象者	奥尻町立中学校生徒及び引率教員

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加生徒数	3	4	2	1	2
引率教員数	3	2	1	1	1
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費	38	39	17	9	68
負担金補助及び交付金	38	39	17	9	68

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	英語暗唱大会という、奥尻には開催していないことから、出場することで様々な経験を培えることから、現状を維持しつつ、事業を継続する。今年度はフェリー欠航のため1日延泊となった。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）、義務教育（中学校）	施策内容	ミルク給食を活用した食育の推進を図る。		
事業名	学校給食費				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童及び生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、ミルク給食を活用した食育の推進を図る。
事業概要	小学校及び中学校においてミルク給食を実施する。
対象者	児童・生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学校給食費	1,788	1,773	1,610	1,400	1,238
需用費	1,646	1,631	1,454	1,244	1,079
役務費	142	142	156	156	159

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>現在、北海道179市町村で共同調達しており、小売業者から購入するよりも安価な金額で購入が可能である。また、離島という地域性であるため、食材の安定的供給が不確定要素であることから、また給食施設も莫大な経費がかかることから、現行のミルク給食を維持していくことが適切であると考えます。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小学校）	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	修学旅行費援助事業				
事業実施日	令和元年6月26日～令和元年6月28日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	小学校の修学旅行費を援助する。
対象者	児童

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者					
奥尻小学校	11	7	5	8	5
青苗小学校	13	9	5	6	0
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費	1,169	873	549	539	242
扶助費					
奥尻小学校	636	457	282	308	242
青苗小学校	533	416	267	231	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	ランク	C	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも事業を継続する必要がある。また、来年度からは小学校間の交流と経費削減のため奥尻・青苗合同で修学旅行を実施する。</p>
ランク			
C			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	来年度より奥尻小学校・青苗小学校合同での実施に改善の上継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（中学校）	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	修学旅行費援助事業				
事業実施日	令和元年8月27日～令和元年8月30日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	
目的	児童の広い知識の豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	中学校の修学旅行費を援助する。
対象者	生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者					
奥尻中学校	4	6	17	22	13
青苗中学校	9	16			
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費費	1,400	2,181	1,399	1,760	1,215
扶助費					
奥尻中学校	440	608	1,399	1,760	1,215
青苗中学校	1,000	1,573			

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em; text-align: center;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	修学旅行費を援助する。		
事業名	見学旅行費援助事業				
事業実施日	令和元年10月14日～令和元年10月17日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成28年度
目的	生徒に広い知識、豊かな社会性を学ばせ、団体行動を通して集団規律を学ぶ。
事業概要	高校の見学旅行費を援助する。
対象者	生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者					
奥尻高等学校		17	9	12	22
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費費		812	470	567	915

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>島外の文化や産業、自然などに触れることで広い知識と社会性を身に付けさせることができるとともに、団体行動を通じて集団規律の在り方を学ぶことができる。また、離島という地域柄も旅行費が高騰する状況もあるため、教育における保護者負担の軽減を図る観点からも現状のまま維持とする。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	高校	施策内容	島ぐるみで高校の魅力化を図る。		
事業名	まなびじま奥尻プロジェクト				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町、奥尻高校
事業開始年度	平成28年度
目的	持続可能な社会づくりの担い手を育成するため、島全体を学校とみなし各産業等の課題克服に生徒自身が考え行動する。
事業概要	まちおこしワークショップ・奥尻イングリッシュサロン・Wi-fi二一ネー・奥尻パブリシティ
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース	事業予算0ベース

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	ランク	C	<p>島の課題に生徒自ら挑戦することで、現代で必要とされる課題解決能力を生徒全員が身につけることができる。また、遠隔個別指導を実施することにより、離島というハンディキャップを解消し、地域格差を是正することができている。さらにこうした取組により奥尻高等学校の魅力化が図れ、生徒の確保にもつながっている。プロジェクト開始から5年が経過するため、地方創生推進交付金の活用方法を含め来年度はプロジェクトの見直しが必要である。</p>
ランク			
C			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	発展計画との整合性を図りながら、プロジェクトの内容を改善の上継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	奥尻高校の存続のため、高校生徒の島外からの受入を実施する。		
事業名	奥尻高校島留学生受入推進事業				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町・奥尻高校
事業開始年度	平成28年度
目的	奥尻高校の生徒数維持、教育環境の向上のため島外からの生徒受入を実施する。
事業概要	全国各地での生徒募集説明会の開催（地域みらい留学）、オープンキャンパスの実施、受入宿舍の確保、受入宿舍および島留学生への補助
対象者	島留学生・保護者・島留学生受入宿舍

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
説明会(独自)参加者 人数		33	52	47	17
OC参加者 人数		19	36	35	39
島留学生(新規) 人数		0	5(3)	16	15
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
島留学生関連事業費		639	2,938	169,046	194,350
旅費		387	420	395	540
消耗品費				143	422
燃料費				604	1,664
印刷製本費		87	540	146	147
光熱水費				622	2,944
修繕料				46	196
賄材料費				1,596	4,151
通信運搬費				125	205
手数料				352	168
火災保険料				55	202
委託料		0	359	15,800	25,093
使用料及び借上料		165	198	659	617
工事請負費				134,287	141,218
備品購入費				7,972	10,075
負担金補助及び交付		0	1,421	6,244	6,708

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>説明会については、大阪・東京において地域みらい留学フェスタに参加する形で行い、北海道内では独自の説明会を函館・札幌で行い、奥尻高校の魅力を全国へ伝える良い機会となっている。また、寄宿舍についても今年度増築工事が終了し、42名入居可能となった。島留学生の受入は高校の存続、奥尻町が抱える担い手不足・過疎化の解決にとっても重要な取組であり、今後も継続して募集や島留学生への支援を行っていく必要がある。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	寄宿舍の舎監について、教員を配置し指導方法を改善の上継続とする。

奥尻町教育委員会 事務事業評価シート

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	高等学校	施策内容	特色ある取組みとしてスクーバ授業を実施する		
事業名	スクーバ授業推進事業				
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻高校
事業開始年度	平成7年度
目的	奥尻のきれいな海を知ることによって郷土愛を育み、ダイビングスキルを身に付けるとともに防災意識・環境保全の意識の向上を目的とする。
事業概要	スクーバダイバー講習、アドバンススクールダイバー講習、潜水技術基礎訓練等を実施。またそれらに使用する機材の更新、保守など
対象者	奥尻高校生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
Cカード取得		10	6	8	19
アドバンス取得		7	10	6	8
潜水土		0	1	4	2
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人材育成費		1,500	2,570	5,091	3,535
委託料		0	1,796	3,136	3,535
備品購入費		0	774	1,955	0
負担金補助及び交付金		1,500	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>奥尻島の美しい海でスクーバダイビングを体験し、島の美しさを再認識することができ郷土愛が育まれる。また、漁業後継者、観光業従事者等の人材育成につながることや、生徒募集のPRとしても有効であることから、今後も継続した事業実施に努める必要がある。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	外国語教育	施策内容	外国語教育指導助手を招へいし、小中高における外国語教育を推進する。			
事業名	外国語教育指導助手招へい事業					
事業実施日	平成31年4月1日～令和2年3月31日					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成29年度
目的	JETプログラムにより、外国語教育指導助手を招へいし、町内各学校の外国語（英語）教育において、ネイティブスピーカーによる指導をすることにより、児童生徒の外国語（英語）能力の向上を図る。
事業概要	小中高に外国語教育指導助手を派遣し、外国語（英語）の授業の補助をする。
対象者	奥尻町立学校児童生徒

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人数			1人	1人	1人
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事務局費			3,386	3,209	4,140
報酬			2,689	2,475	3,735
費用弁償			141	52	0
普通旅費			61	134	56
燃料費			2	7	11
通信運搬費			27	0	0
自動車保険料			7	7	8
車借上料			147	221	223
負担金			312	313	107

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	既に小学校の段階から外国語教育が導入されており、そのなかでネイティブスピーカーによる外国語指導の実施によって「話す」「聞く」能力の向上が図られるため、事業を継続する。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充	B 現状のまま継続	C 改善の上継続	D 事業の縮小	E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。				

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係		事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	義務教育（小・中学校）	施策内容	就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を町から援助している。			
事業名	準要保護児童生徒認定及び援助事業					
事業実施日	令和元年7月（前期）、令和元年10月（後期）、令和2年2月（新入学児童生徒）					

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成23年度
目的	奥尻町内における小・中学校に在籍する就学困難と認められる児童又は生徒の保護者に対し、学校でかかる必要の一部を援助する。
事業概要	就学援助費の支給を受けようとする者は小・中学校を通して教育委員会に認定申請書を提出し、認定を受けた保護者に対し、就学援助費を支給する。
対象者	奥尻町立学校児童生徒の保護者

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
奥尻小学校	4	3	3	3	2
青苗小学校	5	4	2	2	1
奥尻中学校	2	1	7	5	4
青苗中学校	6				
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
教育振興費	17,679	19,037	12,351	9,924	7,534
準要保護児童学用品等援助費	1,025	772	738	544	520

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>経済的理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対し、学校でかかる費用の一部を援助することによって経済的負担を軽減することができ、児童及び生徒自身も安心して就学することができるため、今後も継続して行っていく必要がある。また、今年度から新入学児童生徒学用品費を入学前に支給したことによって、より一層保護者の経済的負担を軽減することができた。</p>
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充	B 現状のまま継続	C 改善の上継続	D 事業の縮小	E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。				

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会事務局学校教育係	事務局長	阿部 元大	担当	井田 憲太
領域	幼稚園・義務教育・高等学校	施策内容	幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図る。		
事業名	各種検診事業				
事業実施日	学校検診、教職員検診11月				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成元年以前
目的	幼児・児童生徒及び教職員等の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とする。
事業概要	学校検診では内科・歯科・心臓検査他8項目検診を行う。教職員検診は例年秋に実施。
対象者	幼稚園児・児童生徒・教職員

3.実施状況

指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
学校検診 (人)	1014	1038	1020	985	940
教職員検診 (人)	51	59	51	47	51
決算額 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
検診費	1,906	2,079	1,839	1,852	1,763
学校検診	946	1,047	989	1,013	967
教職員検診	960	1,032	850	839	796

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	幼児・児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図ることによって、学校教育の円滑な実施につながる事となるため、現状のまま事業の継続が必要である。
ランク			
B			

※ ランク A 事業の拡充 B 現状のまま維持 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
論評	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	少年教育				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	少年の主張発表大会への支援				
事業実施日	令和元年6月20日（木）				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 北海道檜山振興局 (後援) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	日常生活の中で体験し、日頃考えている事を広く発表することにより、自らが社会の一員としての自覚と責任の育成を図る。
事業概要	中学校から2名弁論会により選考し、管内で行われる檜山地区大会弁論大会に参加する。
対象者	奥尻中学校生徒（2名）

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加人数 人	2	2	2	2	2
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	19	12	10	10	21
負担金	19	12	10	10	21

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につける事業として必要であると判断する。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	少年教育				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	ネイバル森主催事業「ジュニアリーダーコースHokkaido in 森」への支援				
事業実施日	令和元年7月29日（月）～7月31日（水）				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) ネイバル森 (共催) 檜山教育局
事業開始年度	平成17年度
目的	北海道各地で活躍する青少年リーダーを育むために、地域の素材を見逃さない「見える力」を鍛え、活性化につなげる具体的な「企画・立案力」と「表現・発信力」の向上を図る。
事業概要	檜山管内の中高校生参加者が、泊りがけでフィールドワークやグループ研修等の活動をおこなう。 (宿泊場所：ネイバル森)
対象者	奥尻中学校生徒（2名）

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加人数 人	3	3	3	2	2
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	25	27	25	17	16
負担金	25	27	25	17	16

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>中高生が、様々な地域の参加者と交流を図りながら、自分たちで町の課題を解決するためのアクションプラン作り等を行うことは、地域の良さを客観的に見つめる視野や、ボランティア活動などの地域活動に主体的に参画する意欲・態度が身につく、青少年リーダーの育成に有効であると判断する。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	青年教育				
ねらい	活動の中心的なリーダー性や意欲を引き出す取り組みを行なうことによって、地域に根差した人材を育成する。				
事務事業名	成人式・成人の集い				
事業実施日	令和元年8月12日（月・祝）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町
事業開始年度	不明
目的	社会組織の一員となることから、自覚と意識を持たせることを目的とする。
事業概要	町内の成人となる人を海洋研修センターに迎え式典を行う。また、成人の集いを開催する。
対象者	町内及び奥尻町出身の成人となる人

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者 人	21	30	28	16	27
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	181	237	238	220	222
賞賜金	78	118	117	130	130
食糧費	94	109	103	84	80
通信運搬費	9	10	10	2	6
消耗品費			8	4	6

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	フェリーダイヤと江差町の写真屋の関係で、例年よりも開始時間を早めた。 昨年までの反省をもとに、今年度からすべての来賓へ式典・集いの案内を出すこととし、来賓・事務局全員から会費を徴収することとした。（会費制については反対意見もなくよかったのではないか。）

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	成人教育				
ねらい	各社会教育団体に補助することにより、地域活動の推進、地域文化の振興を図る。				
事務事業名	社会教育団体への支援				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。
事業概要	PTA連合会・女性団体連絡協議会・文化協会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体主催事業に対しサポートする。
対象者	奥尻町PTA連合会、奥尻町女性団体連絡協議会、奥尻町文化協会

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
児童生徒数 人	154	138	130	119	99
文化団体数	12団体、個人4人	15団体、個人5人	15団体、個人3人	11団体、個人4人	12団体、個人4人
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	430	430	430	430	357
補助金 (PTA)	150	150	150	150	125
補助金 (女連協)	130	130	130	130	121
補助金 (文化協会)	150	150	150	150	111

4.事務事業の評価 (自己評価)

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>各団体が自立し、活発な活動を行っている。</p> <p>各団体自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。</p> <p>※今年度からすべての補助団体において、決算により発生した残金を返納してもらうこととした。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	各社会体育団体に補助することにより、地域活動の推進、スポーツ振興を図る。				
事務事業名	社会体育団体への支援				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	各団体へ要望に基づき補助を行うことで、活動の活性化を促し、地域に根差した活動の振興を図る。
事業概要	奥尻町スポーツ協会・奥尻町スポーツ少年団・奥尻町町民体育祭実行委員会への支援を行う。 また、金銭面以外でも教育委員会として各団体の運営に対しサポートする。
対象者	奥尻町スポーツ協会、奥尻町スポーツ少年団、奥尻町町民体育祭実行委員会

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体協(スポ協)加盟団体数	11	11	9	9	9
スポ少加盟団体数	2	2	2	2	2
マラソン大会参加人数	302	326	232	雨天中止	246
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保健体育総務費	500	530	537	504	450
補助金【体協(スポ協)】	240	240	270	270	187
補助金【スポ少】	110	110	110	110	106
補助金【町体祭】	150	180	157	124	157

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> 会員数・団員数は年々減少傾向にあるが、各団体が自立し、活発な活動を行っている。 スポーツ協会・スポーツ少年団については自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。 ※町民体育祭マラソン大会は、初の海洋研修センター発着で開催。 ※「体育協会」は、H31.4.1より「スポーツ協会」に名称変更。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	会員数・団員数は年々減少傾向にあるが、各団体が自立し、活発な活動を行っている。 スポーツ協会・スポーツ少年団については自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。 ※町民体育祭マラソン大会は、初の海洋研修センター発着で開催。 ※「体育協会」は、H31.4.1より「スポーツ協会」に名称変更。	B	
ランク	会員数・団員数は年々減少傾向にあるが、各団体が自立し、活発な活動を行っている。 スポーツ協会・スポーツ少年団については自己負担金はあるものの、更なる活発な活動を促すため、今後も支援していく必要がある。 ※町民体育祭マラソン大会は、初の海洋研修センター発着で開催。 ※「体育協会」は、H31.4.1より「スポーツ協会」に名称変更。			
B				

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	第41回全町児童・生徒書道展				
事業実施日	令和元年12月10日（火）～12月15日（日）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	児童・生徒に対し書道の発表の場を提供し、創造性豊かな感性を養う。
事業概要	海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった書道作品を展示する。
対象者	小学校児童及び中学校生徒

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
作品数 点	149	140	129	114	97
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	57	57	83	25	42
報償費	54	54	81	23	40
費用弁償	3	3	2	2	2

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	町民の観覧も多く、芸術鑑賞としての位置付けは確立されている。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	第41回子ども美術展				
事業実施日	令和2年2月4日（火）～2月9日（月）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	絵画による表現や鑑賞の機会を提供することにより、児童・生徒が創作する喜びや、作品を通して感動する心豊かな感性や情操を養う。
事業概要	海洋研修センターで、各小中学校から提出のあった絵画作品を展示する。
対象者	小学校児童及び中学校生徒

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
作品数 点	155	140	139	130	169
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	87	87	60	52	57
報償費	84	82	55	47	52
費用弁償	3	5	5	5	5

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>町民の観覧も多く、芸術鑑賞としての位置付けは確立されている。</p> <p>（児童数が減少してきていることもあり、小学生については、今まで絵画か版画どちらか提出だったものを両作品提出してもらうことにした。）</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	奥尻岬巡りツアー				
事業実施日	令和元年5月11日（土）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成27年度
目的	奥尻町に転入された方を中心に、島の史跡や歴史、活動を紹介することで、より奥尻島を深く知ってもらうとともに、今後の社会活動のきっかけづくりとする。
事業概要	島内の史跡や観光地を巡りながら、島の情報を発信し、相互の親睦を図り、これからの島での活動につなげていってもらう。
対象者	全町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数 人	36	22	19	14	26
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	5	12	10	9	14
食糧費	5	12	10	9	14

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;"> <p>ランク</p> <p style="font-size: 2em; margin: 10px 0;">C</p> </div>	<p>新しく島に来る人にとってはとても有意義な事業であり、今後もこの方向性で展開していく。 4月の転入手続きの際にチラシを渡せるよう早めの準備をした。</p> <p>※今までは昼食代として参加者から1,000円徴収し、1,500円の食事を提供していた。（500円は町負担。）次年度から町の負担をなくし、参加者から1,500円を徴収する予定。</p>
<p>A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討</p>	

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	昼食代の町負担をなくした上で継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	芸術・文化				
ねらい	町内の文化や歴史に触れる機会を提供したり、文化協会との連携し文化活動の進行を行なう。				
事務事業名	児童芸術鑑賞事業				
事業実施日	令和元年9月2日（月）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	日頃舞台芸術を鑑賞する機会の少ない地域の児童生徒に対して、鑑賞する機会を提供し、次代を担う児童生徒の豊かな感性や個性を育むと共に、芸術文化を理解し、大切にすることを養う。
事業概要	児童を対象に、小学校体育館を活用し、児童劇、音楽隊などの芸術団体を招き、鑑賞する。文化庁が実施している巡回公演（経費は全額文化庁が負担）と北海道巡回小劇場（道から1/3補助）どちらかを実施。
対象者	町内小学生

3.実施状況

数値等で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
巡回小劇場	ひのき屋わいわい音楽隊（音楽）	イキイキワクワク音楽会（音楽）	陽気なハンス（演劇）		
巡回公演			パントマイム	テレマンオーケストラ	風の子バザール
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費	300	300	300	0	0
負担金	300	300	300	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]				
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> <td>今年巡回公演が採択になったので経費をかけることなく実施できた。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B</td> <td>来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。</td> </tr> </table>	ランク	今年巡回公演が採択になったので経費をかけることなく実施できた。	B	来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。	
ランク	今年巡回公演が採択になったので経費をかけることなく実施できた。				
B	来年度以降もまずは巡回公演に応募し、採択されなかった場合、巡回小劇場に応募する流れで進む旨、両小学校と協議済み。				

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	自然体験や社会体験などの活動を通じて健やかでたくましい少年の育成を図る。				
事務事業名	令和元年度佐藤義則杯野球大会				
事業実施日	令和元年10月19日（土）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成元年
目的	郷土の星、東北楽天ゴールデンイーグルス投手コーチ（元オリックスブルーウェーブ投手）「佐藤義則」氏の功績をたたえるとともに、町内野球団体の技術の普及向上と親睦を図る。
事業概要	町内の野球団体の参加をいただき、野球大会を開催することにより、野球振興の活性化を図る。
対象者	町内野球団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加チーム数 チーム	5	3	4	4	3
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保健体育総務費	54	53	56	53	60
報償金	34	24	42	40	45
賞賜金					
消耗品	20	14	14	13	15
食糧費		15			

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	町内野球団体（奥中・奥高野球部を含む）による野球大会として、野球愛好会を軸に展開しており、町の野球振興の活性化につながっている。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	檜山管内スポーツフェスタ（町内開催）				
事業実施日	令和元年8月20日(火)・21日(水)				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成13年度
目的	町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。
事業概要	檜山管内スポーツフェスタとしてゲートボール競技を開催する。
対象者	管内スポーツ団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加町数 町	4	4	7	0	3
参加人数 人	25	23	67	0	29
競技名	バドミントン	卓球	パークゴルフ	バレーボール	ゲートボール
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	0	0	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]	
B	<p>町外から2町参加、当町含め5チームで開催。当日悪天候により体育館で実施。</p> <p>町内の競技人口の減少により、奥尻町で開催される種目が限られてきている。</p> <p>他町の事情も同様で、奥尻開催の場合は宿泊を伴うので、早い段階から各町愛好団体との調整が必要。</p> <p>近年、どの年代、どの種目においても奥尻町内で開催される檜山管内規模のスポーツ大会は他にない。</p>

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	檜山管内スポーツフェスタ（町外開催）				
事業実施日	-				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 檜山管内スポーツフェスタ実行委員会 (共催) 奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成13年度
目的	町民のスポーツ振興及び参加意欲向上と、他町参加者との親睦と交流を図る。
事業概要	檜山管内スポーツフェスタとして、町外の大会に参加する。
対象者	管内スポーツ団体

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加競技数	3	3	1	1	1
			ゲートボール	ゲートボール	バドミントン
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保健体育総務費	318	173	113	97	71
負担金	318	173	113	97	71

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>各競技、島外で試合する機会は少ないので、参加する意義は高い。</p> <p>他の種目については、近年、選手層の薄さや開催時期、フェリーのダイヤの問題で参加が難しくなっている。</p> <p>奥尻町が参加しやすい夏場開催にしてもらうなど、開催町への働きかけが必要。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	第43回町民スキー大会				
事業実施日	雪不足により中止。				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	昭和49年度ころ
目的	スキーを通じて、冬期間における町民の親睦と体力・技術の向上を図る。
事業概要	町内の小中学生を中心にしたスキー、スノーボードの大会を開催する事業。
対象者	町内小中高生・一般

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者 人	78	69	58	41	中止
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保健体育総務費	157	183	187	148	0
報償費	104	101	98	101	0
消耗品	13	28	35	12	0
燃料費					
食糧費	40	54	54	35	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	冬期間のスポーツ振興としてのスキーは確立しており、引き続き愛好会との連携で行なっていく必要がある。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	学校等体育館・グラウンド夜間開放事業				
事業実施日	通年				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	町民の身近なところで、気軽にスポーツを楽しめるよう、学校の体育施設を開放する。
事業概要	各愛好会のスポーツ振興のため、各学校施設の体育館、グラウンド、町民センター体育館を町民に開放する。
対象者	町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体育館利用団体 チーム	21	23	18	18	17
グラウンド利用団体 チーム	1	2	2	2	2
収入 円	208	237	186	131	164
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体育施設費	290	159	195	200	193
報酬	40	20	20	20	0
賃金	250	139	175	180	193

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr> <td>ランク</td> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	ランク	C	利用の需要は高く、可能な限り開放を展開していきたい。 学校体育館の管理人について、各小学校の教頭もしくは校長にお願いしているが、働き方改革の視点からも負担を軽減する措置が必要。
ランク			
C			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	管理人の負担について改善の上継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	スキー場開放事業				
事業実施日	令和2年2月10日～令和2年2月12日				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	不明
目的	簡易リフトを開放し、スキー人口の拡大と愛好者の技術の向上を図る。
事業概要	桜ヶ丘スキー場の冬期間解放。
対象者	一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
リフト券購入者 人	73 (高校生以上)	76	67	70	20
延べ利用者 日	2265 (中学生以下含む)	2148	1913	1393	67
オープン期間 日	50	56	58	54	3
収入 円	148	158	136	164	41
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
体育施設費	2,638	2,570	2,180	2,078	1,068
賃金	1,359	1,577	1,364	1,084	372
消耗品費	102	53	15	44	42
燃料費	47	86	90	99	37
光熱水費	232	254	257	247	180
修繕費	388	184	26	188	7
手数料	10	0	2	0	3
火災保険料	41	41	42	15	15
通信運搬費	5	8	6	6	0
委託料	305	313	324	341	358
使用料	149	54	54	54	54
工事請負費					

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px;"> <tr> <td style="text-align: center;">ランク</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	ランク	B	<p>冬季のスポーツ振興の一角を担っている事業。今年度は雪不足により3日間しか開放できなかった。スキー場が整備されている強みを生かし今後も上手に活用していくべきである。</p> <p>スキーヤーが楽しく安全に滑走するため管理人とスキー愛好会との連携が必須になる。</p>
ランク			
B			

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供をスポーツ協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	第26回教育長杯グラウンドゴルフ大会				
事業実施日	令和元年9月8日（土）				

2.事務事業概要

事業主体	奥尻町教育委員会
事業開始年度	平成6年度
目的	誰にでもできるスポーツのグラウンドゴルフの普及と技術の向上をめざし、相互の親睦と体力の増進を図る。
事業概要	グラウンドゴルフの大会を開催する。
対象者	小学生～一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者 人	46	49	29	53	43
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保健体育総務費	28	51	33	28	40
報償費	12	37	33	28	40
食糧費	16	14	0	0	0

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性 [必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]			
<table border="1"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td style="font-size: 2em;">C</td></tr> </table>	ランク	C	<p>グラウンドゴルフ愛好会が活動休止になったが、全員がパークゴルフへシフトチェンジしたわけではないので、</p> <p>一定の参加者が見込めるうちは、会場を変えるなど工夫を凝らしながら開催していく。</p>
ランク			
C			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	会場の工夫や参加者が増えるように改善の上継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	スポーツ				
ねらい	心身ともに健康で明るく生きがいのある生活を営む上で、気軽にできるスポーツの機会や情報提供を体育協会等各種団体と連携しておこなうことで、スポーツの普及および啓発を図る。				
事務事業名	町民スキー教室				
事業実施日	雪不足により中止				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 奥尻町スキー愛好会
事業開始年度	不明
目的	スキー技術の向上、スキー人口の拡大を図るとともに、スキーヤー同士の親睦を深める。
事業概要	桜ヶ丘スキー場にて、奥尻町スキー愛好会の協力を得て、スキー教室を開催する。
対象者	全町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者 人	48	34	52	36	中止
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
保健体育総務費	64	57	55	57	0
報償費	50	50	50	50	0
食糧費	7	7	5	5	0
消耗品	7			2	0

4.事務事業の評価 (自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>今年度は雪不足により中止となった。</p> <p>スキー授業が始まる前にレッスンを受けたい児童や教員が多いので、今後も展開していく。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充	B 現状のまま継続	C 改善の上継続	D 事業の縮小	E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。				

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	地域の多様な人材、企業等に参画していただき、学校では経験できないような体験事業を年間を通じて開催することで、青少年の「生きる力」を育むとともに、町民の主体的なまちづくりへの意識を醸成する。				
事務事業名	おくしりチャレンジスクール				
事業実施日	土曜日を中心に年8回				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 学校支援ボランティア登録企業・機関・団体
事業開始年度	平成29年度～
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子育てを支援する気運の醸成 ・青少年の生きる力を育む ・地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等の構築
事業概要	・年に8回、地域の資源や人材を活用し、様々な体験事業を開催する。
対象者	幼稚園児・小学生・中学生・高校生・保護者

3.実施状況（継続事業を除く）

数値で表せる指標	かけっこ教室	自然塾～歴史編～	自然塾～森林編～	自然塾～キャンプ編～	サイエンス教室	アイヌ文化	親子DIY
参加者 人	36	31	14	10	18	12	延期
予算支出 千円	かけっこ教室	自然塾～歴史編～	自然塾～森林編～	自然塾～キャンプ編～	サイエンス教室	アイヌ文化	親子DIY
社会教育総務費	0	4	0	19	5	0	
報償費							
食糧費				5			
消耗品		4	0	14	5		

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]
ランク	それぞれの事業の反省を生かし、継続していくべき事業を続けていく一方で、子どもたちや地域のニーズを探りながら新たな資源を活用した事業の立ち上げも検討していく。
B	

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	図書室の取組による読書活動の推進及び図書室利用者増加。 ボランティアによる町民の主体的な町づくり意識の育成。				
事務事業名	うみいろCafe				
事業実施日	令和元年7月10日(水)・令和元年11月9日(土)				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会うみいろ」・図書ボランティア
事業開始年度	平成28年度～
目的	図書室をカフェとして開放することをとおして、気軽に図書室を利用してもらい、奥尻町海洋研修センター図書室を知ってもらおうと共に、日常的な利用者増加を図る。
事業概要	一日だけ図書室をカフェとして開放するとともに、読みきかせや自由工作などのイベントを行う。
対象者	一般町民

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者 人		100	95	133	50+120
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費		—	11	15	23
報償費					
食糧費			10	13	21
消耗品			1	2	2

4.事務事業の評価（自己評価）

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	<p>前年度の評価を受け、年2回開催とした。（1回目は保健福祉課主催「福祉フェア」と同日に実施。）読みきかせサークル「うみいろ」さんによる読み聞かせやブックトーク、折り紙・塗り絵コーナーを設け子ども達でにぎわった。</p> <p>今後も図書室利用拡大に向け継続すべき事業である。</p>
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充	B 現状のまま継続	C 改善の上継続	D 事業の縮小	E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。				

1.基本項目

担当係	奥尻町教育委員会社会教育係	事務局長	阿部元大	担当	工藤学
領域	青少年教育・成人教育				
ねらい	親子の健やかな成長の促進、家庭を見守る地域の支援体制作り 家庭・地域の連携による子どもの読書活動の推進				
事務事業名	ブックスタート				
事業実施日	5月11日(土)、9月28日(土)、1月18日(土) (町乳幼児検診と合わせて実施)				

2.事務事業概要

事業主体	(主催) 奥尻町教育委員会 (協力) 読みきかせ団体「おはなしの会つみいろ」・図書ボランティア
事業開始年度	平成28年度～
目的	子どもたちの心の健やかな成長を願い、乳幼児期より絵本を媒体として親子のコミュニケーションを豊かにし、子どもと保護者の心の健康作りと地域における子育てを支援する。
事業概要	初めての乳幼児検診時にすべての赤ちゃんと保護者に読みきかせをしながら絵本を手渡す。
対象者	初めての乳幼児検診対象者とその保護者

3.実施状況

数値で表せる指標	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者 人		23名	16名	15名	13名
予算支出 千円	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
社会教育総務費		21	16	17	17
報償費					
食糧費					
消耗品		21	16	17	17

4.事務事業の評価(自己評価)

評価及び方向性	[必要性 ・ 有効性 ・ 効率性 の評価]		
<table border="1" style="width: 100px; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;"> <tr><td>ランク</td></tr> <tr><td>B</td></tr> </table>	ランク	B	アンケートの結果、本をプレゼントすることで、家庭で本を読む機会が増えている様子がうかがえることから、今後も事業を継続していく。
ランク			
B			

A 事業の拡充 B 現状のまま継続 C 改善の上継続 D 事業の縮小 E 休廃止の検討

5.外部評価委員による評価と方向性

評価	A 事業の拡充	B 現状のまま継続	C 改善の上継続	D 事業の縮小	E 休廃止の検討
	評価は妥当と認め、現状のまま継続とする。				